

令和元年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係		観光交流課 観光戦略係		記載者職・氏名		糸賀 浩	
継続		予算事業コード		4250			
No.	301	補助金名		黒船祭執行会補助金			
根拠法		なし					
交付要綱等名称		下田市補助金等交付規則					
総合計画の 位置付け	施策体系	3-1-3		観光			
	基本目標	自然や歴史をはじめとする下田の魅力を活かし、多くの人々が楽しめるまちを目指します。					
補助対象者	黒船祭執行会			事務局等	観光交流課 観光戦略係		
補助金の性質	活動費的補助						
補助開始年度	9	補助終期設定	なし	補助率	なし	1件当たり 補助上限額	なし

○予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
R02	16,000,000	3,000,000	19,000,000
R01	18,000,000	3,000,000	21,000,000
H30	18,000,000	3,000,000	21,000,000

○過去5年間の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算額
H30	18,000,000	3,000,000	21,000,000
H29	9,000,000	9,000,000	18,000,000
H28	17,000,000	0	17,000,000
H27	17,000,000	0	17,000,000
H26	16,900,000	0	16,900,000

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	昭和9年に開港80周年事業として、開港に尽力された先人を顕彰するため、開始された。
国・県等の補助の有無	無し（第74回から県補助打ち切り）
代替手段との比較	-
当初目的の達成度	-
同一団体への他の補助金の有無	なし
廃止の見込み、廃止の影響	約1/3（かつては1/2）を市民等からの寄附に頼っているが、年々目減りしている。現状、事業費に占める補助金の割合が高く、補助金がなければ実施は不可能。

○評価点（10点満点で評価。上記の※数字が複数あるものは、各項目の点数を平均して表示）

公益性の所在	※①	日米交流、国際交流の祭典として公益性は高い。	10
市が補助すべき理由	※②	開国のまち下田市として昭和9年から引き継がれた伝統ある行事を、未来に繋いでいくため補助が必要。	10
目的・内容		開港の歴史を記念し、先駆者を顕彰し、併せて記念イベントを実施し、下田の発展に寄与するため。	10
補助金の主な使途	※③	式典費、行事費	10
予算要求額の算出根拠・算出方法		積み上げにより積算。H31年4月～6月、静岡県で日本最大の観光キャンペーンであるDCキャンペーンが開催。H30のブレ、H32のアフターと併せ3か年で実施。	10
繰越額・積立額と補助金交付額との比較		第79回 繰越金 2,370,987円 第78回 繰越金 1,958,277円 第77回 繰越金 2,003,737円	10
成果・費用対効果	※④	下田開港記念事業として、下田市が日米親善、国際交流を行う意義は大きい。宿泊客の増加など観光振興に成果を上げることが、大きな目的の一つであり、黒船祭に期待を寄せられることは大きい。集客効果等も考慮し、開催時期の変更について検討中。※参加者推計：第80回 217,400人、第79回 205,900人、第78回 201,500人、第77回 201,000人	10

令和元年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係		観光交流課		観光戦略係		記載者職・氏名		糸賀 浩							
継続		予算事業コード		4253											
No.	302	補助金名		下田市夏期海岸対策協議会補助金											
根拠法		下田市海水浴場に関する条例													
交付要綱等名称		下田市補助金等交付規則													
総合計画の 位置付け		施策体系		3-1-3		観光									
		基本目標		自然や歴史をはじめとする下田の魅力を活かし、多くの人が楽しめるまちを目指します。											
補助対象者		下田市夏期海岸対策協議会				事務局等		観光交流課 観光戦略係							
補助金の性質		活動費的補助													
補助開始年度		43		補助終期設定		なし		補助率		なし		1件当たり 補助上限額		なし	

○予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
R02	9,000,000	5,000,000	14,000,000
R01	9,000,000	7,000,000	16,000,000
H30	7,000,000	5,000,000	12,000,000

○過去5年間の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算額
H30	7,000,000	5,000,000	12,000,000
H29	7,000,000	5,000,000	12,000,000
H28	11,000,000	0	11,000,000
H27	11,000,000	0	11,000,000
H26	12,000,000	0	12,000,000

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	観光振興のため 風紀の乱れ、出店者間でのトラブル頻発により、昭和43年に海水浴場の善良な管理を行うため、夏期対策協議会が組織された。また、昭和45年には、浜地を市が一括占用し各支部が管理をする現行の体制となった。
国・県等の補助の有無	なし
代替手段との比較	-
当初目的の達成度	-
同一団体への他の補助金の有無	なし
廃止の見込み、廃止の影響	現時点では、夏期对各支部の独自収入及び市補助金により、管理運営費用を賄っている。また、条例により、海水浴場の良好な環境の保持及び危険防止等によりが安心して遊泳できるよう管理運営することが市の責務となっており、廃止は考えられない。

○評価点（10点満点で評価。上記の※数字が複数あるものは、各項目の点数を平均して表示）

公益性の所在	※①	観光立市下田として、海水浴場の安全確保・環境向上のための役割が責務となっている。	10
市が補助すべき理由	※②	下田市海水浴場に関する条例により、海水浴場の良好な環境の保持及び危険防止等により市民及び来遊客が安心して遊泳できるよう管理運営することが市の責務となっている。	10
目的・内容		海水浴場等による水難の未然防止及び水難者の搜索救護並びに海水浴場等の管理運営に必要な対策を実施することを目的とする。	10
補助金の主な使途	※③	事業費（監視費、支部事業費、清掃業務費等）	10
予算要求額の算出根拠・算出方法		各事業費の積み上げで積算。その他、世界一の海づくり基金を充当。	10
繰越額・積立額と補助金交付額との比較		H30繰越金 953,243円 搜索基金H30末現在高 533,972円 H29繰越金 1,385,915円 搜索基金H29末現在高 533,919円 H28繰越金 689,072円 搜索基金H28末現在高 533,866円	10
成果・費用対効果	※④	ライフセイバー等の活動により、水難事故などの防止に大きな役割を果たしている。 海水浴客数 H30:496,100人、H29:589,100人、H28:655,290人	10

①公益性	10
------	----

②必要性	10
------	----

③適格性	10
------	----

④効果	10
-----	----

令和元年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係	観光交流課	観光戦略係	記載者職・氏名	糸賀 浩			
継続	予算事業コード	4250					
No.	303	補助金名	下田市観光協会補助金				
根拠法	なし						
交付要綱等名称	下田市補助金等交付規則						
総合計画の位置付け	施策体系	3-1-3	観光				
	基本目標	自然や歴史をはじめとする下田の魅力を活かし、多くの人を楽しめるまちを目指します。					
補助対象者	(一社) 下田市観光協会		事務局等	(一社) 下田市観光協会			
補助金の性質	活動費的補助						
補助開始年度	0	補助終期設定	なし	補助率	なし	1件当たり補助上限額	なし

○予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
R02	28,060,000	0	28,060,000
R01	32,000,000	0	32,000,000
H30	32,000,000	0	32,000,000

○過去5年間の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算額
H30	32,000,000	0	32,000,000
H29	31,000,000	0	31,000,000
H28	32,000,000	0	32,000,000
H27	31,740,000	0	31,740,000
H26	28,740,000	0	28,740,000

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	観光振興組織設立による
国・県等の補助の有無	なし
代替手段との比較	-
当初目的の達成度	-
同一団体への他の補助金の有無	下田市観光協会補助金（外国人観光案内分） 下田市観光協会補助金（OTA等広報分） 下田市観光協会補助金（ビーチライブカメラ設置分）
廃止の見込み、廃止の影響	各種事業の継続が難しいものと考えられ、観光の衰退を招くことが予想される。

○評価点（10点満点で評価。上記の※数字が複数あるものは、各項目の点数を平均して表示）

公益性の所在	※①	観光振興の中核を担う団体であり、情報発信、誘客宣伝及び観光関連団体との連絡調整を担うなど公益性は高い	10
市が補助すべき理由	※②	観光協会の行う情報発信、誘客宣伝事業は公益性の高い事業であるため市による補助は適当である	10
目的・内容		下田市観光協会の運営と活動を支援し、イベントの開催や各種宣伝を通じて観光客の誘客に努めるとともに観光の振興を図る	10
補助金の主な使途	※③	宣伝事業費、事業費、運営費	10
予算要求額の算出根拠・算出方法		例年、ゼロベースの積み上げによる積算をしてる。H30年からH32の4月～6月で静岡DCが開催され、あじさい祭の強化・ブラッシュアップを実施。	10
繰越額・積立額と補助金交付額との比較		問題なし	10
成果・費用対効果	※④	イベントの開催や誘客キャンペーン等の実施により、来遊客の減少に一定の歯止め効果をあげている。今後、さらに自主財源の確保に努め市補助金の削減を図る必要がある。	10

令和元年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係		観光交流課		観光戦略係		記載者職・氏名		糸賀 浩							
継続		予算事業コード		4250											
No.	304	補助金名		花火大会補助金											
根拠法		なし													
交付要綱等名称		下田市補助金等交付規則													
総合計画の位置付け		施策体系		3-1-3		観光									
		基本目標		自然や歴史をはじめとする下田の魅力を活かし、多くの人が楽しめるまちを目指します。											
補助対象者		伊豆白浜観光協会、伝統河内花火保存会、夏季花火大会執行委員会				事務局等		各団体							
補助金の性質		活動費的補助													
補助開始年度		0		補助終期設定		なし		補助率		なし		1件当たり補助上限額		なし	

○予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
R02	1,185,000	0	1,185,000
R01	1,185,000	0	1,185,000
H30	1,185,000	0	1,185,000

○過去5年間の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算額
H30	1,185,000	0	1,185,000
H29	1,085,000	0	1,085,000
H28	900,000	0	900,000
H27	900,000	0	900,000
H26	985,000	0	985,000

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	観光振興のため
国・県等の補助の有無	なし
代替手段との比較	-
当初目的の達成度	-
同一団体への他の補助金の有無	なし
廃止の見込み、廃止の影響	花火大会の継続、伝統行事の継承が難しくなる

○評価点（10点満点で評価。上記の※数字が複数あるものは、各項目の点数を平均して表示）

公益性の所在	※①	地域振興のみならず、観光客誘客のための花火打ち上げということで、公益性はある	9
市が補助すべき理由	※②	イベントとして、観光誘客及びまちの活性化に寄与する事業であり市が補助することは妥当である	8
目的・内容		観光振興のため	9
補助金の主な使途	※③	行事費（花火打ち上げ費用）	10
予算要求額の算出根拠・算出方法		白浜海の祭典花火大会 50千円、下田納涼花火大会 1,000千円、河内手筒花火大会135千円	10
繰越額・積立額と補助金交付額との比較		繰越金なし	10
成果・費用対効果	※④	市外からの来遊客の増加については未知数であるが、海水浴以外のプラスアルファーとして花火大会による顧客満足度向上につながっている。	8

①公益性 9

②必要性 9

③適格性 10

④効果 8

令和元年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係		観光交流課		観光戦略係		記載者職・氏名		糸賀 浩							
継続		予算事業コード		4250											
No.	306	補助金名		伊豆下田地区教育旅行協議会補助金											
根拠法		なし													
交付要綱等名称		下田市補助金等交付規則													
総合計画の 位置付け		施策体系		3-1-3		観光									
		基本目標		自然や歴史をはじめとする下田の魅力を活かし、多くの人が楽しめるまちを目指します。											
補助対象者		伊豆下田地区教育旅行協議会				事務局等		観光交流課 観光戦略係							
補助金の性質		運営費的補助													
補助開始年度		13		補助終期設定		なし		補助率		なし		1件当たり 補助上限額		なし	

○予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
R02	35,000	0	35,000
R01	35,000	0	35,000
H30	35,000	0	35,000

○過去5年間の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算額
H30	35,000	0	35,000
H29	35,000	0	35,000
H28	415,000	0	415,000
H27	35,000	0	35,000
H26	40,000	0	40,000

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	須崎地区で定着していた体験型修学旅行を他地区（田牛・白浜・外浦）へ広めるため（平成13年協議会発足）
国・県等の補助の有無	終了 国 2,185千円 食と地域の交流促進対策交付金事業（H23,H24） 終了 県 180千円 子ども農山漁村交流プロジェクト支援事業(H23） ※直接伊豆下田地区教育旅行協議会へ補助
代替手段との比較	-
当初目的の達成度	市全体で取り組んでいるという姿勢が他地域に安心感を与え、中京地区及び神奈川地区の教育旅行生を増やしてきた。また、静岡県東部地域においても誘致活動を行い、近隣地域からも受け入れを行っている。
同一団体への他の補助金の有無	なし
廃止の見込み、廃止の影響	下田市全体として、キャラバン等のPR活動が出来なくなり、旅行数の減少が予想される。

○評価点（10点満点で評価。上記の※数字が複数あるものは、各項目の点数を平均して表示）

公益性の所在	※①	市内4地区の観光協会、民宿組合等による広域的な組織で、教育旅行に係る情報発信、誘致活動を行うなど公益性は高い	10
市が補助すべき理由	※②	共同宣伝事業や、大きな団体の受入に備えるためにも、協議会の必要性は高い	10
目的・内容		小中学生の修学旅行及び体験学習等の教育旅行誘致推進	10
補助金の主な使途	※③	通年開設しているHP維持管理費	10
予算要求額の算出根拠・算出方法		定額補助（最低限のホームページ維持管理経費分を計上）	10
繰越額・積立額と補助金交付額との比較		繰越金 H30 342,249円、H29 267,186円、H28 110,674円	8
成果・費用対効果	※④	受入実績 H30:29校（4,712人）、H29:28校（4,821人）、H28:28校（4,934人）H27:28校（5,609人） 各地区の民宿の減少により、各地区共同での受け入れ等調整が必要となっている。令和元年度をもって須崎、外浦地区の受入れ終了予定。	10

①公益性	10	②必要性	10	③適格性	9	④効果	10
------	----	------	----	------	---	-----	----

令和元年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係		観光交流課		観光戦略係		記載者職・氏名		糸賀 浩							
継続			予算事業コード		4253										
No.	307	補助金名		自然体験活動推進協議会補助金											
根拠法			なし												
交付要綱等名称			下田市補助金等交付規則												
総合計画の 位置付け		施策体系		3-1-3		観光									
		基本目標		自然や歴史をはじめとする下田の魅力を活かし、多くの人が楽しめるまちを目指します。											
補助対象者		下田市自然体験活動推進協議会				事務局等		観光交流課 観光戦略係							
補助金の性質		活動費的補助													
補助開始年度		0		補助終期設定		なし		補助率		なし		1件当たり 補助上限額		なし	

○予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
R02	400,000	3,000,000	3,400,000
R01	900,000	4,000,000	4,900,000
H30	1,700,000	4,000,000	5,700,000

○過去5年間の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算額
H30	1,700,000	4,000,000	5,700,000
H29	1,350,000	4,000,000	5,350,000
H28	4,000,000	0	4,000,000
H27	3,300,000	2,700,000	6,000,000
H26	900,000	0	900,000

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	一季集中型の観光から四季型・通年型観光地への転換を目指し、体験型観光メニューの充実を図るため。また、開港150周年記念事業より継続している。
国・県等の補助の有無	都市農村共生・対流交付金事業（国庫補助） H25 4,100千円 H26 4,529千円、H27市町村振興協会補助金 3,500千円、H27地域住民生活等緊急支援事業分（国補助金）2,800千円
代替手段との比較	-
当初目的の達成度	-
同一団体への他の補助金の有無	なし
廃止の見込み、廃止の影響	多様化する観光需要に対応が出来ず、下田の特性を活かした観光まちづくりが困難となる。

○評価点（10点満点で評価。上記の※数字が複数あるものは、各項目の点数を平均して表示）

公益性の所在	※①	観光誘致を柱として、地域の子どもの自然体験教育や自然環境保護にも関連している。また、下田市観光まちづくり推進計画に沿った事業を実施予定であるため、十分な公益性がある。	10
市が補助すべき理由	※②	協議会があることにより、それぞれのボランティア的な個別の活動を連携させることは必要であり、協議会の活動が教育旅行の誘致、伊豆半島ジオパーク構想の推進に繋がっていく。 観光基本計画に掲げる「世界一の海づくり事業」プロジェクトの実施主体であることから補助は必要。	10
目的・内容		自然を活かした観光の掘り起こし。そして自然をテーマとしたガイド組織を設立し、案内を通して訪れる人とのふれあいや交流を促進する。また、イベント事業としてシートゥーサミット実施を目指す。	10
補助金の主な使途		マリン講座、自然講座、モニターツアー、ジオ関係、海議開催、体験メニューのプロモーション。	10
予算要求額の算出根拠・算出方法	※③	積み上げにより算出。	10
繰越額・積立額と補助金交付額との比較		繰越金 H30 897,974円、H29 117,791円	10
成果・費用対効果	※④	本活動により育成した指導者が教育旅行の体験指導を行うなど、他の観光事業にも関わりを持つようになってきている。 ニューツーリズム、グリーンツーリズム等自然体験型の観光の需要は今後益々増えていく。	10

①公益性 10

②必要性 10

③適格性 10

④効果 10

令和元年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係		観光交流課		観光戦略係		記載者職・氏名		糸賀 浩							
継続		予算事業コード		4350											
No.	308	補助金名		海岸砂防柵設置事業補助金											
根拠法		下田市海水浴場整備事業補助金交付要綱													
交付要綱等名称		下田市海水浴場整備事業補助金交付要綱													
総合計画の位置付け	施策体系		4-3-1		防災										
	基本目標		防災意識が高く、災害に強いまちを目指します。												
補助対象者		長田区 原田区 外浦区			事務局等		観光交流課 観光戦略係								
補助金の性質		活動費的補助													
補助開始年度		0		補助終期設定		なし		補助率		なし		1件当たり補助上限額		なし	

○予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
R02	360,000	0	360,000
R01	415,000	0	415,000
H30	415,000	0	415,000

○過去5年間の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算額
H30	295,000	0	295,000
H29	415,000	0	415,000
H28	415,000	0	415,000
H27	255,000	0	255,000
H26	274,000	0	274,000

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	砂飛散のため、道路、家屋等に被害が出ていた。そのため地域住民が中心となり対策を施し、市としてもその費用の一部を負担したことから始まる
国・県等の補助の有無	白浜大浜の砂防柵設置については資材の現物支給あり
代替手段との比較	なし
当初目的の達成度	砂の飛散防止に一定の効果あり
同一団体への他の補助金の有無	なし
廃止の見込み、廃止の影響	飛砂防止に大きな影響が出る。特に、白浜大浜に沿う国道135号への影響は計り知れない。

○評価点（10点満点で評価。上記の※数字が複数あるものは、各項目の点数を平均して表示）

公益性の所在	※①	道路への飛砂を減少させる目的があり、公益上役割は大きい	10
市が補助すべき理由	※②	飛砂防止、自然環境の保護・保全、安全対策上必要である	10
目的・内容		自然環境の保護・保全	9
補助金の主な使途	※③	資材費、機械借上げ料	10
予算要求額の算出根拠・算出方法		360千円（、原田70千円、外浦290千円） ※外浦については県よりの資材提供なく、地元負担を強いられている。	10
繰越額・積立額と補助金交付額との比較		繰越金なし	10
成果・費用対効果	※④	砂の飛散防止、自然環境の保護 ※長田区はH23から飛散がなかったため、事業実施を見送っている。	10

①公益性 10

②必要性 10

③適格性 10

④効果 10

令和元年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係		観光交流課		観光戦略係		記載者職・氏名		糸賀 浩							
継続		予算事業コード		4250											
No.	309	補助金名		まちおこしカジキサポートクラブ補助金											
根拠法		なし													
交付要綱等名称		下田市補助金等交付規則													
総合計画の位置付け		施策体系		3-1-3 観光											
		基本目標		自然や歴史をはじめとする下田の魅力を活かし、多くの人が楽しめるまちを目指します。											
補助対象者		まちおこしカジキサポートクラブ			事務局等		まちおこしカジキサポートクラブ								
補助金の性質		運営費的補助													
補助開始年度		20		補助終期設定		なし		補助率		なし		1件当たり補助上限額		なし	

○予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
R02	700,000	0	700,000
R01	700,000	0	700,000
H30	1,000,000	0	1,000,000

○過去5年間の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算額
H30	1,000,000	0	1,000,000
H29	700,000	0	700,000
H28	700,000	0	700,000
H27	700,000	0	700,000
H26	700,000	0	700,000

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	「H20国際カジキ釣り30回記念大会」より。 注目度や事業規模等も大きくなっていることから、平成20年度から本補助が開始された。
国・県等の補助の有無	なし
代替手段との比較	なし
当初目的の達成度	-
同一団体への他の補助金の有無	なし
廃止の見込み、廃止の影響	国際カジキ釣り大会は他市町からの誘致オファーがあり補助金を廃止すると、大会が他市町へ移る可能性が大である。カジキ釣り大会と同時開催している夏のイベントとして定着しているマリンフェスタの開催も危ぶまれる。

○評価点（10点満点で評価。上記の※数字が複数あるものは、各項目の点数を平均して表示）

公益性の所在	※①	カジキサポートクラブは本大会の市民主導によるサポート団体であり、官民協働事業の一翼を担っている。	10
市が補助すべき理由		国際カジキ釣り大会は、市内経済への波及効果も大きく、事業を円滑に実施するため必要である。	10
目的・内容	※②	「国際カジキ釣り大会」は世界最大級のカジキ釣大会であり、下田の夏のイベントとして定着している。事業の成功を収めることにより、十分なPR効果が期待できることから補助を行うものである。カジキ釣り大会とマリンフェスタを同時開催している。	10
補助金の主な使途		運営費	10
予算要求額の算出根拠・算出方法	※③	定額補助 700,000円 平成30年度は第40回の記念大会のため補助額を増額とした。	10
繰越額・積立額と補助金交付額との比較		繰越金 H30 570,568円 H29 292,758円 H28 36,977円	10
成果・費用対効果	※④	年々参加艇が増加しており、大会規模が大きくなっている。 参加艇数 H20（30回記念）111艇、H21 92艇、H22 96艇、H23 93艇、H24 93艇、 H25 99艇、H26 93艇、H27 82艇、H28 86艇、H29 86艇、H30 132艇	10

①公益性	10	②必要性	10	③適格性	10	④効果	10
------	----	------	----	------	----	-----	----

令和元年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係	観光交流課	観光戦略課	記載者職・氏名	糸賀 浩			
継続	予算事業コード	4253					
No.	310	補助金名	フリーダイビング下田大会補助金				
根拠法	なし						
交付要綱等名称	下田市補助金等交付規則						
総合計画の位置付け	施策体系	3-1-3	観光				
	基本目標	自然や歴史をはじめとする下田の魅力を活かし、多くの人が楽しめるまちを目指します。					
補助対象者	A p n e a A c a d e m y A s i a		事務局等	A p n e a A c a d e m y A s i a			
補助金の性質	施策的補助						
補助開始年度	27	補助終期設定	なし	補助率	なし	1件当たり補助上限額	なし

○予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
R02	100,000	0	100,000
R01	100,000	0	100,000
H30	100,000	0	100,000

○過去5年間の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算額
H30	100,000	0	100,000
H29	100,000	0	100,000
H28	0	0	0
H27	133,640	0	133,640
H26	0	0	0

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	日本フリーダイビングの第一人者であり須崎在住の松元恵さんが代表を務めるA p n e a A c a d e m y A s i aがマリンスポーツのメッカでもある下田市で大会を開催し、体験型レジャーにもつながる同スポーツを軸とした交流を促進する目的で開催したことによる。
国・県等の補助の有無	なし
代替手段との比較	なし
当初目的の達成度	-
同一団体への他の補助金の有無	なし
廃止の見込み、廃止の影響	下田市での大会開催が困難となる

○評価点（10点満点で評価。上記の※数字が複数あるものは、各項目の点数を平均して表示）

公益性の所在	※①	日本フリーダイビングの普及とそれを軸とした交流促進	7
市が補助すべき理由	※②	世界一の海づくりプロジェクトを推進しており、全国大会規模のマリンスポーツ大会については積極的に誘致していきたい。	8
目的・内容		目的：マリンスポーツのメッカでもある下田市で大会を開催し、体験型レジャーにもつながる同スポーツを軸とした交流を促進する 内容：下田港内での潜水競技、敷根 プールでの潜水競技	7
補助金の主な使途	※③	敷根 プール等利用料	8
予算要求額の算出根拠・算出方法		敷根 プール等利用料金相当分の助成	7
繰越額・積立額と補助金交付額との比較		繰越金なし	7
成果・費用対効果	※④	H30年度 海洋競技は天候により中止、プール競技のみ実施 参加選手25名 H29年度 海洋競技は天候により中止、プール競技のみ実施 参加選手32名	7

①公益性	7	②必要性	8	③適格性	7	④効果	7
------	---	------	---	------	---	-----	---

令和元年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係	観光交流課	観光戦略係	記載者職・氏名	糸賀 浩			
継続	予算事業コード	4250					
No.	312	補助金名	下田市観光協会補助金（外国人観光案内分）				
根拠法	なし						
交付要綱等名称	下田市補助金等交付規則						
総合計画の位置付け	施策体系	3-1-3	観光				
	基本目標	自然や歴史をはじめとする下田の魅力を活かし、多くの人が楽しめるまちを目指します。					
補助対象者	下田市観光協会		事務局等	下田市観光協会			
補助金の性質	施策的補助						
補助開始年度	28	補助終期設定	なし	補助率	なし	1件当たり補助上限額	なし

○予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
R02	70,000	1,100,000	1,170,000
R01	300,000	1,000,000	1,300,000
H30	400,000	2,000,000	2,400,000

○過去5年間の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算額
H30	400,000	2,000,000	2,400,000
H29	419,184	2,000,000	2,419,184
H28	2,600,000	0	2,600,000
H27	0	0	0
H26	0	0	0

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	インバウンド需要等の増加による受け入れ体制の整備
国・県等の補助の有無	なし
代替手段との比較	-
当初目的の達成度	-
同一団体への他の補助金の有無	下田市観光協会補助金 下田市観光協会補助金（OTA等広報分） 下田市観光協会補助金（ビジットジャパン出展分） 下田市観光協会補助金（ビーチライブカメラ設置分）
廃止の見込み、廃止の影響	外国人観光客の受け入れに必需であり廃止は考えられない。

○評価点（10点満点で評価。上記の※数字が複数あるものは、各項目の点数を平均して表示）

公益性の所在	※①	観光振興のためインバウンド需要を取り込む必要がある	10
市が補助すべき理由	※②	外国人観光客の増加に伴い、市が関与し受入環境整備を進める必要がある平成28年度より委託費から補助金へ変更。	10
目的・内容		観光協会駅前案内所に英語対応スタッフ1名を配置	10
補助金の主な使途	※③	英語対応スタッフ1名配置に係る人件費等	10
予算要求額の算出根拠・算出方法		英語対応スタッフ1名配置に係る人件費等の1/2	10
繰越額・積立額と補助金交付額との比較		なし	10
成果・費用対効果	※④	駅前案内所利用外国人数 H30 1,002人、H29 954人 将来的には英語だけでなく、他の言語対応も必要である。	10

令和元年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係	観光交流課	観光戦略係	記載者職・氏名	糸賀 浩			
継続	予算事業コード	4250					
No.	313	補助金名	田牛観光協会補助金				
根拠法	なし						
交付要綱等名称	下田市補助金等交付規則						
総合計画の位置付け	施策体系	3-1-3	観光				
	基本目標	自然や歴史をはじめとする下田の魅力を活かし、多くの人を楽しめるまちを目指します。					
補助対象者	田牛観光協会	事務局等	田牛観光協会				
補助金の性質	活動費的補助						
補助開始年度	28	補助終期設定	元	補助率	なし	1件当たり補助上限額	なし

○予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
R02	0	0	0
R01	400,000	0	400,000
H30	400,000	0	400,000

○過去5年間の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算額
H30	400,000	0	400,000
H29	350,000	0	350,000
H28	350,000	0	350,000
H27	0	0	0
H26	0	0	0

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	龍宮窟が市内屈指の名所となり観光客が増加したことに伴う、駐車場の確保、誘導等地元負担が問題となったことから、負担軽減のため補助することとなった。
国・県等の補助の有無	なし
代替手段との比較	-
当初目的の達成度	-
同一団体への他の補助金の有無	なし
廃止の見込み、廃止の影響	令和元年6月から竜宮公園前の普通財産を駐車場として田牛区に貸し付け。令和元年度をもって補助終了とする。

○評価点（10点満点で評価。上記の※数字が複数あるものは、各項目の点数を平均して表示）

公益性の所在	※①	近年観光客が急増している田牛龍宮窟周辺の観光客対策として、地元観光協会、地元区が協力して実施。 ※夏期については、夏期対で対応している。	10
市が補助すべき理由	※②	竜宮窟が有名になったものの駐車場等も少なく、受け入れ態勢が不十分であったことから、地元区に多大な負担が生じてしまった。負担ばかり増え、地元に対しての利益還元もほとんどない状況にあったことから地元負担軽減のため補助を開始した。	10
目的・内容		駐車場誘導等の一定人工分の補助（夏期対期間を除く）	10
補助金の主な使途		駐車場誘導等の人工	8
予算要求額の算出根拠・算出方法	※③	観光客の増加により稼働日が増となることからH30年度予算額を増とする。 夏期（7・8月）を除く土日祝日分の人工 @4000×100日	8
繰越額・積立額と補助金交付額との比較		繰越金なし	8
成果・費用対効果	※④	田牛地区の混雑緩和、地元負担の軽減に一定の効果을上げているが、観光客も増加しており更なる対策が必要。	7

令和元年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係	観光交流課	観光戦略係	記載者職・氏名	糸賀 浩			
継続	予算事業コード	4250					
No.	314	補助金名	下田市観光協会補助金（OTA等広報分）				
根拠法	なし						
交付要綱等名称	下田市補助金等交付規則						
総合計画の位置付け	施策体系	3-1-3	観光				
	基本目標	自然や歴史をはじめとする下田の魅力を活かし、多くの人を楽しめるまちを目指します。					
補助対象者	下田市観光協会		事務局等	下田市観光協会			
補助金の性質	施策的補助						
補助開始年度	29	補助終期設定	なし	補助率	1	1件当たり補助上限額	なし

○予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
R02	0	2,000,000	2,000,000
R01	0	2,000,000	2,000,000
H30	0	3,000,000	3,000,000

○過去5年間の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算額
H30	0	3,000,000	3,000,000
H29	0	2,000,000	2,000,000
H28	0	0	0
H27	0	0	0
H26	0	0	0

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	旅行業界におけるOTA（オンライン・トラベル・エージェント）の情報発信、特にインバウンド、個人旅行においての重要性が高まっていることから観光宣伝として実施するもの。
国・県等の補助の有無	なし
代替手段との比較	情報発信は様々な多くの手法により広報することが重要と考えており、その意味において、“代替”と言った観点は無い。
当初目的の達成度	-
同一団体への他の補助金の有無	下田市観光協会補助金 下田市観光協会補助金（外国人観光案内分） 下田市観光協会補助金（ビーチライブカメラ設置分）
廃止の見込み、廃止の影響	個人旅行等においてOTAの重要性は高まっており、廃止はあり得ないとする。

○評価点（10点満点で評価。上記の※数字が複数あるものは、各項目の点数を平均して表示）

公益性の所在	※①	下田の夏の観光宣伝を実施するもので、観光を主要産業とする下田市にとっては、公共性・重要性は高い。	10
市が補助すべき理由	※②	特定施設・店舗等の宣伝でなく、下田市の海、自然、イベント等の観光資源を情報発信するものであるため。	10
目的・内容		OTAを活用しインターネット上で下田の観光宣伝を実施する。 ※OTAとは店舗を持って営業活動を行っている従来型の旅行会社（リアルエージェント）に対し、インターネット上だけで取引を行う旅行会社。	10
補助金の主な使途	※③	OTAによる情報発信	10
予算要求額の算出根拠・算出方法		主要OTA3社による情報発信 (800千円×2社) + (400千円×1社) = 2,000千円	10
繰越額・積立額と補助金交付額との比較		繰越金なし	10
成果・費用対効果	※④	H30年度は、リクルートじゃらんの情報誌、ホームページ、アプリにより、5月から12月にかけて下田の観光情報を発信し、市全体の宿泊客数増加に貢献。	9

令和元年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係	観光交流課	観光戦略係	記載者職・氏名	糸賀 浩			
継続	予算事業コード	4250					
No.	315	補助金名	下田市観光協会補助金（ビジットジャパン出展分）				
根拠法	なし						
交付要綱等名称	下田市補助金等交付規則						
総合計画の位置付け	施策体系	3-1-3	観光				
	基本目標	自然や歴史をはじめとする下田の魅力を活かし、多くの人が楽しめるまちを目指します。					
補助対象者	下田市観光協会		事務局等	下田市観光協会			
補助金の性質	施策的補助						
補助開始年度	29	補助終期設定	なし	補助率	1	1件当たり補助上限額	なし

○予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
R02	0	0	0
R01	390,000	0	390,000
H30	300,000	0	300,000

○過去5年間の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算額
H30	300,000	0	300,000
H29	280,000	0	280,000
H28	280,000	0	280,000
H27	0	0	0
H26	0	0	0

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	観光におけるインバウンド需要の増加による
国・県等の補助の有無	なし
代替手段との比較	日本最大のインバウンド商談会であり、海外のエージェントに下田をPRするには一番の効果があると思われる。情報発信・広報はより多くの手法により行うことが重要である。
当初目的の達成度	-
同一団体への他の補助金の有無	下田市観光協会補助金 下田市観光協会補助金（外国人観光案内分） 下田市観光協会補助金（OTA等広報分） 下田市観光協会補助金（ビーチライブカメラ設置分）
廃止の見込み、廃止の影響	-

○評価点（10点満点で評価。上記の※数字が複数あるものは、各項目の点数を平均して表示）

公益性の所在	※①	下田市全体の観光宣伝を実施するもので、観光を主要産業とする本市にとって、公益性は高い。	10
市が補助すべき理由		個別店舗等でなく、下田市の観光宣伝を実施することから、市費の補助によることが望ましい。	10
目的・内容	※②	日本観光局（JNTO）が開催する日本最大のインバウンド商談会「VISIT JAPAN トラベル&MICEマート」に下田市ブースを出展。	10
補助金の主な使途		出展料、参加者旅費（3名2泊）、送料等。 ※参加者は主に英語による対応となる。	10
予算要求額の算出根拠・算出方法	※③	ブース出展に係る直接費用の積み上げにより算出。 ※R2年度は、沖縄県にて開催のため実施予定なし。	10
繰越額・積立額と補助金交付額との比較		繰越金なし	10
成果・費用対効果	※④	9/20～21東京ビッグサイトで開催の「VISIT JAPAN トラベル&MICEマート」に下田市ブースを出展。世界32カ国のバイヤー・メディア約370社、日本全国のセラー570団体が参加。 ※商談実施実績 H30 16社、H29 18社	8

①公益性	10	②必要性	10	③適格性	10	④効果	8
------	----	------	----	------	----	-----	---

令和元年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係		観光交流課		観光戦略係		記載者職・氏名		糸賀 浩							
継続		予算事業コード		4250											
No.	316	補助金名		下田水仙ツーデーマーチ補助金											
根拠法		なし													
交付要綱等名称		下田市補助金等交付規則													
総合計画の位置付け		施策体系		3-1-3 観光											
		基本目標		自然や歴史をはじめとする下田の魅力を活かし、多くの人が楽しめるまちを目指します。											
補助対象者		下田水仙ツーデーマーチ実行委員会			事務局等		観光交流課 観光戦略係								
補助金の性質		運営費的補助													
補助開始年度		27		補助終期設定		なし		補助率		1		1件当たり補助上限額		なし	

○予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
R02	500,000	0	500,000
R01	500,000	0	500,000
H30	500,000	0	500,000

○過去5年間の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算額
H30	500,000	0	500,000
H29	400,000	0	400,000
H28	400,000	0	400,000
H27	0	0	0
H26	0	0	0

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	通算22回目を迎えるウォーキングイベント。多くのウォーキングリーグの認定大会であり全国から多くのウォーカーが参加する。
国・県等の補助の有無	なし
代替手段との比較	-
当初目的の達成度	-
同一団体への他の補助金の有無	なし
廃止の見込み、廃止の影響	大会開催が困難となる

○評価点（10点満点で評価。上記の※数字が複数あるものは、各項目の点数を平均して表示）

公益性の所在	※①	実行委員会形式により市観光交流課が実施。	10
市が補助すべき理由	※②	実行委員会形式により市観光交流課が実施している。	10
目的・内容		ウォーキングイベントを活用し来遊参加者と地域住民の交流活性、地域住民の健康維持・増進、観光PRの拡大に寄与する。	10
補助金の主な使途	※③	運営費	7
予算要求額の算出根拠・算出方法		参加者負担金、協賛金、市補助金により運営。大会実施予算から参加者負担金、協賛金収入を除いた500千円を補助。	7
繰越額・積立額と補助金交付額との比較		繰越金 H30 180,524円、H29 109,908円	8
成果・費用対効果	※④	下田市を代表する季節の花「水仙」を通じて、全国へ向けて「暖かな伊豆の早春」をPRし、交流人口増加を図った。H30：延参加者567人（一般参加者472名の内409人が県外参加者）。	10

①公益性	10	②必要性	10	③適格性	7	④効果	10
------	----	------	----	------	---	-----	----

令和元年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係	観光交流課	観光戦略係	記載者職・氏名	糸賀 浩
継続	予算事業コード	4250		
No.	318	補助金名	下田市観光協会補助金（ビーチライブカメラ設置分）	
根拠法	なし			
交付要綱等名称	下田市補助金等交付規則			
総合計画の位置付け	施策体系	3-1-3	観光	
	基本目標	自然や歴史をはじめとする下田の魅力を活かし、多くの人が楽しめるまちを目指します。		
補助対象者	下田市観光協会		事務局等	下田市観光協会
補助金の性質	施策的補助			
補助開始年度	30	補助終期設定	なし	補助率
				1
				1件当たり補助上限額
				なし

○予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
R02	0	2,000,000	2,000,000
R01	617,000	2,000,000	2,617,000
H30	313,000	4,000,000	4,313,000

○過去5年間の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算額
H30	313,000	4,000,000	4,313,000
H29	0	0	0
H28	0	0	0
H27	0	0	0
H26	0	0	0

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	H29年夏期の記録的連続雨天（関東地方）の影響により、関東地方の海水浴客数が大幅減となった。当市においても、同期間における雨は4日間であるにもかかわらず大きな影響を受けてしまった。天気予報と実際のずれも多く、機会ロスを減らす策としてライブ部カメラを設置し下田の海をライブ配信する。
国・県等の補助の有無	なし
代替手段との比較	紙パンフレットだけでは伝えきれない、今の海の美しさを伝える。
当初目的の達成度	-
同一団体への他の補助金の有無	下田市観光協会補助金 下田市観光協会補助金（外国人観光案内分） 下田市観光協会補助金（OTA等広報分）
廃止の見込み、廃止の影響	-

○評価点（10点満点で評価。上記の※数字が複数あるものは、各項目の点数を平均して表示）

公益性の所在	※①	市が直接実施してもよい事業であるが、今後の展開（スポンサーの獲得等）の可能性を考慮し、観光協会により実施することとした。	10
市が補助すべき理由		市の施策として、リアルタイムに下田の海をPRする。	10
目的・内容	※②	目的 年間を通した下田の海の魅力発信により観光客を呼び込む。 内容 市内4カ所（白浜大浜、白浜中央、外浦、田牛）のビーチに定点ライブカメラを設置しユーチューブにより動画配信を実施するほか市内・市外の拠点にタブレットを設置し放映。	10
補助金の主な用途		市内4カ所（白浜大浜、白浜中央、外浦、田牛）の海水浴場及び水仙まつり期間に爪木崎に設置するライブカメラ等の維持管理費用。	10
予算要求額の算出根拠・算出方法	※③	ライブカメラの維持管理費、動画ライブ配信に要する経費の積み上げにより算出。	10
繰越額・積立額と補助金交付額との比較		繰越金なし	10
成果・費用対効果	※④	7・8月最盛期の機会ロスを防ぎ、さらに通年で海の魅力発信することで観光交流客数の増を目指す。当市の海水浴客は約50万人であるが、数%の集客の増減であっても、その経済効果は大きい。来年度、ユーチューブ広告による収益化を検討予定。	10

①公益性 10

②必要性 10

③適格性 10

④効果 10

令和元年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係		観光交流課		観光戦略係		記載者職・氏名		糸賀 浩							
継続			予算事業コード		4253										
No.	319	補助金名		東京オリンピック・パラリンピックホストタウン推進協議会補助金											
根拠法			なし												
交付要綱等名称			下田市補助金等交付規則												
総合計画の 位置付け		施策体系		2-1-3	スポーツ										
		基本目標		市民がいつでも気軽にスポーツを楽しむことができるまちを目指します。											
補助対象者		東京オリンピック・パラリンピックホストタウン推進協議会			事務局等		観光交流課 観光戦略係								
補助金の性質		施策的補助													
補助開始年度		30		補助終期設定		32		補助率		1		1件当たり 補助上限額		なし	

○予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
R02	4,032,000	0	4,032,000
R01	2,000,000	0	2,000,000
H30	2,000,000	0	2,000,000

○過去5年間の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算額
H30	2,000,000	0	2,000,000
H29	0	0	0
H28	0	0	0
H27	0	0	0
H26	0	0	0

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	平成29年12月11日にアメリカ合衆国を対象国として、2020東京オリンピックパラリンピック・ホストタウンとして登録。
国・県等の補助の有無	特別交付税1/2
代替手段との比較	-
当初目的の達成度	-
同一団体への他の補助金の有無	なし
廃止の見込み、廃止の影響	サーフィン競技代表選手の東京オリンピック事前キャンプに関する覚書を牧之原市と合同でUSAサーフィンと締結しており受け入れにあたって廃止は考えられない。

○評価点（10点満点で評価。上記の※数字が複数あるものは、各項目の点数を平均して表示）

公益性の所在	※①	市（観光交流課）が実行委員会形式により実施するもの。	10
市が補助すべき理由	※②	市（観光交流課）が実行委員会形式により実施するもの。	10
目的・内容		2020年東京オリンピックパラリンピックの開催に向け、大会に参加する選手、大会参加国の関係者、日本人のオリンピック達とスポーツの振興、教育文化の向上及び共生社会の実現を図る。	10
補助金の主な使途	※③	USAサーフィンチームの事前合宿、交流事業、日本人オリンピック等の講演会等	9
予算要求額の算出根拠・算出方法		事前合宿、交流事業、文化事業等の積み上げにより算出。	8
繰越額・積立額と補助金交付額との比較		繰越金 H30 627,481円	7
成果・費用対効果	※④	選手受入事業：5/17～19 USAサーフィンチーム選手2名の強化合宿を受入れ。下田中学校での交流会、中学生サーフィン教室、黒船祭サーフィンコンテストへの参加等の交流事業を実施。 文化交流事業：3/8 下田市出身のプロサーファー大野修聖氏を講師に下田中学校にて講演会を開催。3/15 室内温水プールでのサーフィン体験会及び米国大使館と白浜小学校児童との交流事業を開催。	8

①公益性 10

②必要性 10

③適格性 8

④効果 8

令和元年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係		観光交流課		観光戦略係		記載者職・氏名		糸賀 浩							
継続		予算事業コード		4253											
No.	320	補助金名		JPSAジャパンプロサーフィンツアー下田大会補助金											
根拠法		なし													
交付要綱等名称		下田市補助金等交付規則													
総合計画の位置付け		施策体系		3-1-3 観光											
		基本目標		自然や歴史をはじめとする下田の魅力を活かし、多くの人が楽しめるまちを目指します。											
補助対象者		(一社) 日本プロサーフィン連盟			事務局等		(一社) 日本プロサーフィン連盟								
補助金の性質		活動費的補助													
補助開始年度		30		補助終期設定		なし		補助率		なし		1件当たり補助上限額		なし	

○予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
R02	0	0	0
R01	400,000	0	400,000
H30	400,000	0	400,000

○過去5年間の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算額
H30	400,000	0	400,000
H29	0	0	0
H28	0	0	0
H27	0	0	0
H26	0	0	0

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	日本最高峰のプロサーフィンツアーを下田市で開催し、美しい海、サーフィンのメッカとなる用広くPRするため。
国・県等の補助の有無	なし
代替手段との比較	-
当初目的の達成度	-
同一団体への他の補助金の有無	なし
廃止の見込み、廃止の影響	下田市での大会開催が困難となる

○評価点（10点満点で評価。上記の※数字が複数あるものは、各項目の点数を平均して表示）

公益性の所在	※①	年に8回実施されるプロサーフィンツアーを下田市で実施することは、世界一の海づくり事業を実施し、マリンスポーツ・ツーリズムを推進する下田市にとって絶好のPRとなるため。	10
市が補助すべき理由	※②	マリンスポーツのメッカづくり。	10
目的・内容		JPSAプロサーフィンツアー「伊豆下田CHAMPION PRO」の誘致。	10
補助金の主な使途	※③	大会運営費	10
予算要求額の算出根拠・算出方法		定額補助400,000円 (企業スポンサード料相当額の約10%)	7
繰越額・積立額と補助金交付額との比較		繰越金なし	10
成果・費用対効果	※④	JPSAジャパンプロサーフィンツアー2018ショートボード第2戦伊豆下田CHAMPION PRO開催(H30.7.6~8 白浜大浜海岸)。 参加選手 114人(男子86人、女子28人)	9

①公益性	10	②必要性	10	③適格性	9	④効果	9
------	----	------	----	------	---	-----	---

令和元年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係		観光交流課		観光戦略係		記載者職・氏名		糸賀 浩							
継続		予算事業コード		4250											
No.	321	補助金名		黒船祭協賛行事補助金											
根拠法		なし													
交付要綱等名称		下田市補助金等交付規則													
総合計画の位置付け		施策体系		3-1-3 観光											
		基本目標		自然や歴史をはじめとする下田の魅力を活かし、多くの人が楽しめるまちを目指します。											
補助対象者		黒船祭協賛行事实施団体				事務局等		観光交流課 観光戦略係							
補助金の性質		活動費的補助													
補助開始年度		元		補助終期設定		なし		補助率		なし		1件当たり補助上限額		なし	

○予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
R02	2,457,000	0	2,457,000
R01	2,457,000	0	2,457,000
H30	0	0	0

○過去5年間の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算額
H30	0	0	0
H29	0	0	0
H28	0	0	0
H27	0	0	0
H26	0	0	0

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	補助金交付事務の見直しにより、黒船祭執行会補助金に含まれていた協賛行事实施団体への補助を直接市が交付する形に改めたことによる。		
国・県等の補助の有無	なし		
代替手段との比較	-		
当初目的の達成度	-		
同一団体への他の補助金の有無	なし		
廃止の見込み、廃止の影響	黒船祭開催期間における協賛行事の開催が困難となる		

○評価点（10点満点で評価。上記の※数字が複数あるものは、各項目の点数を平均して表示）

公益性の所在	※①	黒船祭協賛行事实施団体に対する補助。旧町内におけるにぎわいの創出等に寄与。	9
市が補助すべき理由	※②	にぎわいの創出、日米交流の促進のため。	9
目的・内容		黒船祭におけるにぎわいの創出、日米交流の促進を目的とし、商店街開国市、日米親善ビーチバレーボール大会、黒船祭協賛ゴルフ大会、黒船祭サーフィンコンテストに対する補助。	9
補助金の主な使途	※③	協賛行事開催経費（飲食費、人件費等を除く）	9
予算要求額の算出根拠・算出方法		商店街開国市 2,300千円、ビーチバレー大会 57千円、サーフィン大会 50千円、ゴルフ大会 50千円	9
繰越額・積立額と補助金交付額との比較		繰越金なし	10
成果・費用対効果	※④	令和元年度が補助初年度 第80回黒船祭：商店街開国市 104,640人、ゴルフ大会114人、ビーチバレー70人、サーフィン 115人	10

①公益性 9

②必要性 9

③適格性 9

④効果 10

令和元年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係		観光交流課		観光戦略係		記載者職・氏名		糸賀 浩							
継続		予算事業コード		4250											
No.	322	補助金名		竹あかり事業補助金											
根拠法		なし													
交付要綱等名称		下田市補助金等交付規則													
総合計画の位置付け		施策体系		3-1-3		観光									
		基本目標		自然や歴史をはじめとする下田の魅力を活かし、多くの人が楽しめるまちを目指します。											
補助対象者		アフターサマープロジェクト実行委員会		事務局等		下田商工会議所									
補助金の性質		活動費的補助													
補助開始年度		元		補助終期設定		なし		補助率		なし		1件当たり補助上限額		なし	

○予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
R02	0	500,000	500,000
R01	0	0	0
H30	0	0	0

○過去5年間の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算額
H30	0	0	0
H29	0	0	0
H28	0	0	0
H27	0	0	0
H26	0	0	0

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	夏の終わり（9月～10月）の観光動員の底上げを目的に実施していたイベントを静岡ディスティネーションキャンペーン開催に合わせゴールデンウィーク及び黒船祭期間中に実施することとしたことによる。
国・県等の補助の有無	なし
代替手段との比較	-
当初目的の達成度	-
同一団体への他の補助金の有無	なし
廃止の見込み、廃止の影響	イベント実施が困難となる。

○評価点（10点満点で評価。上記の※数字が複数あるものは、各項目の点数を平均して表示）

公益性の所在	※①	観光動員の活性化に寄与するイベントとして公益性は高い。	10
市が補助すべき理由	※②	まちおこし企画のイベントとして、観光誘客及びまちの活性化に寄与する事業であり市が補助することは妥当である。	8
目的・内容		旧町内に竹灯りオブジェの設営・点灯等の街路装飾の実施、協賛飲食店でのオリジナル竹器によるメニューの提供。	10
補助金の主な使途	※③	直接イベントに使用する、キャンドル、ガラス瓶の購入費用の一部を補助。	10
予算要求額の算出根拠・算出方法		竹灯りオブジェに利用する、キャンドル、ガラス瓶等の購入費用を補助。	10
繰越額・積立額と補助金交付額との比較		繰越金なし	10
成果・費用対効果	※④	令和元年度が補助初年度	8

①公益性 10

②必要性 9

③適格性 10

④効果 8

令和元年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係	観光交流課	観光戦略係	記載者職・氏名	糸賀 浩			
継続	予算事業コード	4253					
No.	323	補助金名	全日本ライフセービングクラブ選手権大会補助金				
根拠法	なし						
交付要綱等名称	下田市補助金等交付規則						
総合計画の位置付け	施策体系	3-1-3	観光				
	基本目標	自然や歴史をはじめとする下田の魅力を活かし、多くの人が楽しめるまちを目指します。					
補助対象者	(公財)日本ライフセービング協会	事務局等	日本ライフセービング協会				
補助金の性質	活動費的補助						
補助開始年度	元	補助終期設定	なし	補助率	なし	1件当たり補助上限額	なし

○予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
R02	300,000	0	300,000
R01	300,000	0	300,000
H30	0	0	0

○過去5年間の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算額
H30	0	0	0
H29	0	0	0
H28	0	0	0
H27	0	0	0
H26	0	0	0

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	日本ライフセービング協会より下田市での開催の意向が示されたことにより、開催誘致、支援のため補助を開始。
国・県等の補助の有無	なし
代替手段との比較	-
当初目的の達成度	-
同一団体への他の補助金の有無	なし
廃止の見込み、廃止の影響	-

○評価点（10点満点で評価。上記の※数字が複数あるものは、各項目の点数を平均して表示）

公益性の所在	※①	世界一の世界海づくり事業を実施し、マリンスポーツ・ツーリズムを推進する下田市にとって絶好のPRとなる。ライフセービングの普及・啓発が目的であり公共性は高い。	10
市が補助すべき理由	※②	世界一の世界海づくりプロジェクトを推進しており、全国大会規模のマリンスポーツ大会の誘致を積極的に行うもの。	10
目的・内容	※②	目的 安心安全な海水浴場の運営に欠かせないライフセービングの普及・啓発。 内容 全日本ライフセービングカテゴリー別選手権大会の下田市内での開催。	10
補助金の主な使途		大会運営費	10
予算要求額の算出根拠・算出方法	※③	定額補助300,000円	8
繰越額・積立額と補助金交付額との比較		-	8
成果・費用対効果	※④	令和元年度が補助初年度	10

①公益性 10

②必要性 10

③適格性 9

④効果 10